

事務事業実績測定調査

事務事業名称	災害時要援護者避難支援事業									
測定年度	2021 (R3) 年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち							
	施策目標		1.災害に対する備えができています							
	実行計画名		1-1.防災体制の充実							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	2006 (H18) 年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	決裁									
関係補助金名称							サンセット		～	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		災害が発生したときに、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者、および身体障害、知的障害、精神障害がある方で、ひとり暮らしの方、同居している方も支援が必要な高齢者や障害者の方、同居している方が就労等のために避難支援が難しい方。							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		災害時に自力で避難することが困難である。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害時の逃げ遅れ等の2次被害を防ぎ、災害時要配慮者の安全を確保する。									
事業概要	災害が発生した場合、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者や障害者の逃げ遅れの防止を行う。 手上げ方式で要援護者の申請を受け付け。 民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		災害時の逃げ遅れ等を防ぐ体制が構築される。				災害時要援護者が登録するとともに、民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。				手上げ方式で要援護者の申請を受け付ける。				
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明		災害時要援護者登録人数のうち、避難支援者が設定されている割合 【算出式:避難支援者が設定されている人数/全登録者数】				避難支援者設定人数				災害時要援護者制度登録者数			
			単位		%		単位		人		単位		人	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	420	420	420	420	1,300	1,300	1,300	1,300
		実績	42.44	41.96			494	420			1,164	1,001		
	達成度		42%				100%				77%			
	分析		災害発生時に避難支援を必要とする方に対して、地域において避難支援者を設定することが容易でないことから、目標値と実績に乖離がある。				地域の協力等により、避難支援者の設定人数において目標を達成することができた。				死亡や転出、施設への入居により全体の登録者数が減少したことに加え、新規登録者数も減少した。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.19
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,232	3,270	1,493		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,232	3,270	1,493		
	物件費計		9,712	9,903	6,542	6,542	100%
歳出計		10,944	13,173	8,035			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			10,944	9,903	6,542	6,542	

5. 総括的分析

総括的分析	災害時要援護者避難支援事業への登録者のうち、全ての人に避難支援者が設定されている状態が理想であるが、地域の実情を踏まえると非常に困難である。避難支援者の設定されている登録者数増加のため、周知方法等を検討する必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	災害対策基本法が平成25年度に改正され、要介護者や重度の障害のある方といった避難行動要支援者に係る名簿の作成が市町村に義務付けられたことを踏まえ、改正に伴う関係部署での今後の対応も見極めながら、整合が図れるよう本事業を進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	災害医療対策関係事務										
測定年度	2021(R3)年度				部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち								
	実行計画名		2-1.災害時の応急処置活動の充実								
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	2011(H23)年度				年度	～	年度まで				
根拠法令等	災害対策基本法、新型インフルエンザ等対策特別措置法										
関係補助金名称							サンセット	～			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		災害及び新型インフルエンザ等の発生により被害を受ける恐れのある市民								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		災害及び新型インフルエンザ等が発生した場合、市民の生命・身体等に被害を被るおそれがある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害発生時には迅速に適切な医療救護活動を、新型インフルエンザ等発生時には蔓延防止措置や罹患時の適切な処置を行い、市民の生命や身体を保護することにより、安全安心な生活を確保する。										
事業概要	枚方市災害医療対策会議等の開催及び災害医療訓練の実施等、関係機関との相互連携を強化する。新型インフルエンザ等対策については、「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき対策を講じる。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		災害医療体制が充実する。				関係機関との相互連携を強化する。				災害医療対策に関する取り組みを行う。						
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
			災害医療訓練アンケート提出者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合【算出式:枚方市災害医療体制について理解した人／アンケート提出者×100】				災害医療訓練の関係機関からの参加者数				災害医療訓練の実施回数					
	指標種類		単位		%		単位		人		単位		回			
			増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
			目標 (見込み)	80	80	80	80	30	30	30	30	1	1	1	1	
	達成度		実績		0	0			0	0			0	0		
			0%				0%				0%					
分析		新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため実績なし。						
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		災害医療体制が充実する。				新型インフルエンザ対策に対する職員の理解や情報の共有が図られる。				新型インフルエンザ対策に関する取り組みを実施する。						
指標設定②	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
			災害医療訓練アンケート提出者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合【算出式:枚方市災害医療体制について理解した人／アンケート提出者×100】				全体研修対象者の参加割合				全体研修の実施回数					
	指標種類		単位		%		単位		%		単位		回			
			増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
			目標 (見込み)	80	80	80	80	100	100	100	100	1	1	1	1	
	達成度		実績		0	0			0	0			0	0		
			0%				0%				0%					
分析		新型コロナウイルス感染症拡大により、訓練開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、研修開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症拡大により、研修開催に至らなかったため実績なし。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.57
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,781	0	4,478		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	9,781	0	4,478		
	物件費計		1,258	688	5,595	7,723	72%
歳出計		11,039	688	10,073			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	5,167	6,556	
	歳入計		0	0	5,167	6,556	
一般財源			11,039	688	428	1,167	

5. 総括的分析

総括的分析	災害医療対策会議を書面で開催し、災害時医療救護活動マニュアルの改訂や拠点応急救護所設置・運営マニュアルを策定した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、訓練及び研修を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称																	
更生保護サポートセンター運営補助事業																	
測定年度		2021(R3)年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課			
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標				1.安全で、利便性の高いまち											
		施策目標				3.暮らしに身近な安全が確保されたまち											
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業	
事業期間		2013(H25)年度						年度		～		年度まで					
根拠法令等		枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金交付要綱															
関係補助金名称		更生保護サポートセンター運営補助金								サンセット		2020(R2)年度		～		2022(R4)年度	
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		拠点があることによって充実した活動を行える保護司													
		サブターゲット		罪を犯した人													
		ターゲットが抱える課題		更生のためには本人の意思とともに周囲の協力が不可欠だが、刑期を終えて出所された方を受け止めるための受け皿が少ない。													
		ターゲットが抱える課題		更生させ、再犯を防止するためには、本人との面談等を通じた信頼関係の構築・居場所づくり・就職援助等、多岐にわたる課題があり、保護司がそれらの活動を安心かつ安全に行える拠点が必要。													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		サポートセンターが、その場所を必要とする方に対して永続的に開かれ、今後もいっそう市の更生保護の推進に寄与すること。															
事業概要		地域における更生保護の活動拠点として、平成25年10月に設置された枚方・交野地区更生保護サポートセンターの運営を行う枚方・交野地区保護司会を支援する。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		保護司活動を安心かつ安全に行うことができる。				更生保護サポートセンターを開所することができる。				更生保護サポートセンター運営補助金を交付する。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		指標説明		センターにおける電話、来所等の対応件数				開所日数		補助金の交付件数							
				単位		件		単位		人		単位		日			
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		日標 (見込み)		245	245	245	245	245	245	245	245	1	1	1	1		
		実績		197	202			136.50	122			1	1				
		達成度		82%				50%				100%					
		分析		緊急事態宣言発令時やまん延防止等重点措置実施期間中はセンターを閉鎖しており、面談等を避けた活動を実施していたため、目標値を下回った。				緊急事態宣言発令時やまん延防止等重点措置実施期間中はセンターを閉鎖していたため、目標値を下回った。				枚方・交野地区保護司会に補助金の交付を行い、活動拠点である更生保護サポートセンターの設備維持管理費が適切に行われた。					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	751	239	393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	751	239	393		
	物件費計		302	291	260	911	29%
歳出計		1,053	530	653			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,053	291	260	911	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響によるまん延防止等重点措置の実施期間中は更生保護サポートセンターを閉所しており、対面等での面談を避けて活動を行っていたため、指標の達成度は想定どおりである。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	更生保護活動を円滑に実施するため、今後も引き続き支援を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総合福祉会館維持管理事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち							
	施策目標		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	内部管理			特性		内部事務		区分		一般内部管理事務
事業期間	1998(H10)年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	枚方市立総合福祉会館条例及び同施行規則									
関係補助金名称							サンセット		-	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		福祉活動を行う市民・団体など、総合福祉会館の利用者							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		福祉活動や市民交流の輪を広げる場が必要							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者・障害者などの福祉サービスが充実する。また、活動の場を提供することにより、福祉活動が促進される。									
事業概要	有料貸室の貸出・福祉情報制作室(点訳やビデオの字幕入力)・温水プールの運営など。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
					総合福祉会館が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等が行われる。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検回数				
	単位				単位				%				
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
						100以内	100以内	100以内	100以内	97	97	97	97
達成度													
分析						予定工事及び緊急工事を実施した。 契約不調のため予定工事を1件中止した。				予定どおり実施した。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.67
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,320	9,171	5,264		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	5,320	9,171	5,264		
	物件費計		239,382	239,595	199,536	211,220	94%
歳出計		244,702	257,266	204,800			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		14,363	9,661	10,376	12,025	
	市債		10,100	14,500	0	0	
	その他		0	0	0	0	
歳入計		24,463	20,830	10,376	12,025		
一般財源			220,239	227,265	189,160	199,195	

5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者制度により、会館の維持管理業務、貸室業務、温水プールの運営、各種福祉講座を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き適正な会館管理を行い、福祉活動の場を提供していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		健康医療都市ひらかた推進事業																			
測定年度		2021 (R3) 年度						部		健康福祉部				課		健康福祉政策課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2				R3				R4					
総合計画体系		基本目標				2.健やかに、生きがいをを持って暮らせるまち															
		施策目標				6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち															
		実行計画名				6-2.健康づくりの推進															
1. 事務事業の概要																					
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分				一般事務事業			
事業期間		2012 (H24) 年度				年度		～												年度まで	
根拠法令等		決裁																			
関係補助金名称												サンセット				～					
関係附属機関名称																					
事業対象		メインターゲット		事業に参加する市民																	
		サブターゲット		健康医療都市ひらかたコンソーシアムを構成する市内の医療機関や医療系大学、関係団体																	
		ターゲットが抱える課題		自ら健康増進を図る知識や機会を得る効果的なすべが少ない。																	
		ターゲットが抱える課題		各団体がそれぞれの事業効果を高める必要がある。																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		健康・医療に関わる各関係機関が密接に連携し、顔の見える関係性を構築することで、様々な連携事業による市民の健康増進や医療体制の強化につなげる。																			
事業概要		平成24年8月に設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行う。コンソーシアムにおける連携事業としては、以下の事業を想定している。 ・災害医療対策のための連携事業 ・地域完結型医療実現のための連携事業 ・こころの健康増進のための連携事業 ・健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ・母と子どもの健康支援のための連携事業 ・健康・医療アカデミー創設による連携事業 ・健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ・健康・医療に関する情報発信のための連携事業 【構成団体】14団体 枚方市、枚方市保健所、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、関西医科大学、大阪歯科大学、摂南大学、関西医科大学附属病院、星ヶ丘医療センター、枚方公済病院、大阪精神医療センター、市立ひらかた病院、枚方市病院協会 【連携団体】2団体 枚方市スポーツ協会、枚方寝屋川消防組合																			
2. ロジックモデル及び指標設定																					
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
		市民の健康増進が図られる。				連携事業に市民等が参加する。				「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業を実施する。											
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
		事務局主催事業における参加者アンケートで、「健康に関する意識が高まった」と回答した人の割合【算出式:健康に関する意識が高まったと回答した人／アンケート数×100】 <td colspan="4">連携事業への市民等の参加者数</td> <td colspan="4">連携事業としての講演会・研修等の実施回数</td>				連携事業への市民等の参加者数				連携事業としての講演会・研修等の実施回数											
		単位		%		単位		人		単位		回									
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標											
		指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5							
		指標数値	目標 (見込み)	80	80	80	80	12,000	12,000	12,000	12,000	30	30	30	30						
			実績	0	0			563	1,012			6	14								
達成度		0%				8%				47%											
分析		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催事業として参加型のイベント及びアンケートを実施しておらず、実績なし。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの市民が参加するイベント等が実施できず、令和2年度からは微増したものの、目標を大幅に下回る結果となった。				新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会・研修等の実施が困難ななか、オンライン開催など開催方法の工夫により、実施回数が増加した。											

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.41
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,329	3,031	3,221		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	118	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	4,447	3,031	3,221		
	物件費計		232	0	50	690	7%
歳出計		4,679	3,031	3,271			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			4,679	0	50	690	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、連携事業の中止や休止が相次いだため、指標の達成度は低いものとなっている。 その一方で、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する代表者会議及び事務責任者が参加する事務レベル会議を書面及び対面にて開催し、また主催事業として、健康長寿のための口腔健康管理をテーマに動画を作成のうえ枚方市公式YouTubeにて発信するなど、例年とは形を変えて取り組むことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する14団体を中心に、社会資源の共同利用や情報共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行うとともに、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する代表者会議及び事務責任者が参加する事務レベル会議を開催する。また、構成団体が実施している各連携事業について、課題や取り組み状況を事務局として確認し、対応していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		コミュニティソーシャルワーカー配置事業																								
測定年度		2021(R3)年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課												
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4														
総合計画体系		基本目標				2.健やかに、生きがいを有して暮らせるまち																				
		施策目標				6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち																				
		実行計画名				6-3.地域福祉の推進																				
1. 事務事業の概要																										
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業										
事業期間		2006(H18)年度				年度		～								年度まで										
根拠法令等		枚方市コミュニティソーシャルワーカー配置事業実施要綱																								
関係補助金名称												サンセット				-										
関係附属機関名称																										
事業対象		メインターゲット		地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族、親族等																						
		サブターゲット																								
		ターゲットが抱える課題		福祉に関するさまざまな相談をしたい。どこに相談すればよいのかわからない。																						
		ターゲットが抱える課題																								
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		複合的な課題を抱えるなど、どこに相談したらよいかわからない人の相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。																								
事業概要		コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族・親族等の支援を通じて、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤作りを行い、地域福祉の計画的な推進に資することで、健康福祉のセーフティネットの構築を図る。 コミュニティソーシャルワーカーを配置する「いきいきネット相談支援センター」は、事業を開始した平成18年4月は市内で2か所だったが、現在は6か所となっている。																								
2. ロジックモデル及び指標設定																										
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																
		対象者の相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。				対象者が福祉に関する相談をする。				「いきいきネット相談支援センター」を設置する。																
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
			相談を通じて問題解決につながったと感じている割合【算出式:対応完了件数/当該年度の新規相談件数+昨年度の継続件数】				延べ相談件数				「いきいきネット相談支援センター」設置箇所数															
			単位		%				単位		件				単位		箇所									
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		
		目標 (見込み)		100		100		100		100		9,670		10,869		12,217		13,732		5		5		5		5
			実績		83.88		76.01				8,999		8,522						6		5					
達成度		76%				78%				100%																
分析		令和3年度においても新型コロナウイルスの影響により、窓口来庁者やアウトリーチの機会等が減少したことから目標に達しなかった。				令和3年度においても新型コロナウイルスの影響により、窓口来庁者やアウトリーチの機会も減少したことから目標に達しなかった。				東エリアと北エリアが統合し、令和4年2月に「社協ルファルひらかた」が開所したため、昨年度より1拠点減となった。																

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.32
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
(千円)

4. 決算額

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,514	1,515	2,514		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	2,514	1,515	2,514		
	物件費計		31,613	41,212	43,086	43,086	100%
歳出計		34,127	42,727	45,600			
歳入	国庫支出金		0	0	3,486	3,486	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	8,213	0	0	
	歳入計		0	8,213	3,486	3,486	
一般財源			34,127	32,999	39,600	39,600	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度においても、新型コロナウイルスの影響は大きく、窓口来庁者やアウトリーチの機会も減少したことから、相談件数が目標値に達しなかった。 いきいきネット相談支援センターについては、令和4年2月に新たに「社協ルフアルひらかた」が開設され、拠点が増えた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	令和4年度より、当事業が「重層的支援体制整備事業」に組み込まれたことで、各関係課・機関との支援体制の充実が見込まれる。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生活支援事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名		6-3.地域福祉の推進							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	不明			年度	～	年度まで				
根拠法令等	枚方市くらしの資金の貸付けに関する条例及び施行規則									
関係補助金名称							サンセット		～	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		低所得の一時的な生活困窮世帯等							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		生活が一時的に困窮している							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生活が安定し自立した生活を送ることができる									
事業概要	一時的な生活困窮世帯で、一定要件のもと必要な金額の貸し付けを行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		対象者が安定した生活を送ることができる。				貸付を行うことで世帯が一時的な困窮から脱する。				生活が一時的に困窮している世帯からの相談を受け付ける。				
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明		くらしの資金 償還率 【算出式:H30年度以降貸付分の返済額/H30年度以降貸付分で返済期日が到来している額×100】				貸付件数				相談件数			
			単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	70	71	72	73	10	10	10	10	200	200	200	200
		実績	73.23	76.70			3	0			41	19		
	達成度		108%				0%				10%			
	分析		返済について周知した結果、目標の数値を達成することができた。				社会福祉協議会が実施する緊急小口資金や総合支援資金等の新型コロナウイルス特例貸付へ繋がる件数が多く、貸付の実績はなかった。				緊急小口資金や総合支援資金等の相談が多く、本貸付への相談が少なかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,316	479	550		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	3,316	479	550		
	物件費計		0	0	0	0	—
歳出計		3,316	479	550			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			3,316	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、くらしの資金貸付よりも申請要件等が簡素な緊急小口資金等の貸付に繋がるケースが多かったため、くらしの資金貸付及び相談は少ない傾向にあったと思う。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、相談内容に応じた貸付等をおこなっていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	骨髄バンクドナー支援事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを 持って暮らせるまち							
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事业			区分		一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度			年度	～	年度まで				
根拠法令等	決裁									
関係補助金名称	骨髄バンクドナー						サンセット	2020(R2)年度		～ 2022(R4)年度
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	骨髄バンクドナーになっている、あるいはなる意志のある市民								
	サブターゲット	メインターゲットの市民が従事している								
	ターゲットが抱える課題	骨髄・末梢血幹細胞提供にあたり、平日の日中に複数回に渡って医療機関へ出向くことが必要であるため、負担が大きい。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業の実施により、骨髄等の提供者及び骨髄バンクのドナー登録者が増える。									
事業概要	白血病などの血液疾患の治療に必要な骨髄・末梢血幹細胞提供者(ドナー)は、提供にあたり、平日の日中に複数回に渡って医療施設に出向くことが必要であるため、ドナー及びドナーが従事している事業所に対し、助成金を交付することにより、骨髄等移植及びドナー登録の推進を図る。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	助成金による支援により、骨髄バンクのドナー登録者が増加する。					骨髄・末梢血幹細胞の提供が完了し、他の補助金等の交付を受けていない方による助成金の申請が増える。				骨髄バンクドナー支援事業に関する周知・啓発を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市内における骨髄バンクのドナー登録者数					ドナー支援事業申請者数				事業に関する各種啓発冊子等の配布冊数			
	単位 人					単位 人				単位 冊			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	1,180	1,250	1,325	1,400	5	5	5	5	500	300	300	300
		1,211	1,252			2	2			700	900		
達成度		100%				40%				300%			
分析		目標を達成することができた。				広く周知を行ったが想定よりも件数が少なかった。				庁内及び関係各所や枚方市駅献血ルーム等にチラシを設置するなど、広く周知を行った。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	1,196	393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	324	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	—	1,520	393		
	物件費計		—	361	350	1,125	31%
歳出計		—	1,881	743			
歳入	国庫支出金		—	0	0	0	
	府支出金		—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	0	0	0	
	市債		—	0	0	0	
	その他		—	361	0	0	
	歳入計		—	361	0	0	
一般財源			—	0	350	1,125	

5. 総括的分析

総括的分析	ドナーに対し、2件の補助金を交付することができた。また、うち1件についてはドナーが勤務する事業所に対しても補助金の交付を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	庁内及び関係各所へのチラシの配付等により周知に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														枚方市立総合福祉会館 福祉相談・福祉情報提供等事業													
測定年度				2021(R3)年度				部				健康福祉部				課		健康福祉政策課									
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針				R2		R3		R4											
総合計画体系				基本目標				2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち																			
				施策目標				6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち																			
				実行計画名																							
1. 事務事業の概要																											
種類				市民サービス				特性				選択的事业				区分				一般事務事業							
事業期間				2021(R3)年度				年度		～								年度まで									
根拠法令等				枚方市立総合福祉会館条例																							
関係補助金名称														サンセット				～									
関係附属機関名称																											
事業対象				メインターゲット		地域における高齢者、障害者、低所得者など援護を要するあらゆる者																					
				サブターゲット																							
				ターゲットが抱える課題		悩みを聞いてほしい。どこに相談してよいかわからない																					
				ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)				福祉会館として福祉に関する相談並びに情報の収集及び提供を行い、傾聴・助言、専門相談機関の案内等を行うことで、市民が安心して生活を送ることができる。																							
事業概要				枚方市立総合福祉会館の会館事業として指定管理業務であったものを、令和3年度から市が事業委託として実施するもの。 ＜委託期間＞令和3年(2021年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで(3年間)																							
				(1)福祉相談業務 ①業務内容:枚方市立総合福祉会館に来館あるいは電話等で市民等から相談が入った際に、高齢者や障害者、子ども、低所得者等の幅広い相談を行い、助言等を行う。 ②相談対応時間:枚方市立総合福祉会館の開館日 9時～17時30分 ③1日における配置人数:常時1名以上 ④相談場所:枚方市立総合福祉会館 1階 相談室2 ⑤従事者資格要件:社会福祉士、介護福祉士もしくは福祉相談実務経験を2年以上有する者 (2)福祉情報提供等業務 ①業務内容:枚方市立総合福祉会館4階福祉図書コーナーに来館された市民等に福祉に関する図書、ビデオ視聴の貸し出し等の受付業務の他、福祉図書の蔵書管理、福祉に関する情報の提供や検索を支援する。また、スタッフは障害者当事者としてピアカウンセリングを実施するとともに、必要に応じて、(1)福祉相談業務へ繋ぐこととする。 ②相談対応時間:枚方市立総合福祉会館の開館日 9時～17時30分 ③1日における配置人数:常時3名以上(内訳:障害者2名以上、事務補助員1名以上) ④相談場所:枚方市立総合福祉会館 4階 福祉図書コーナー ⑤従事者資格要件 i)身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている者で、相談者の相談に対応できる者。 ii)事務補助員:i)のスタッフを補助し、また、福祉に関する情報の提供や検索を支援し、高齢者や障害者等に配慮した対応ができる者(福祉関連の資格がない場合も可)。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)											
				対象者の福祉相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。						対象者が福祉に関する相談をする。						総合福祉会館に福祉相談窓口を設置する											
指標設定				アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)											
				福祉相談件数のうち傾聴や関係機関の案内など適切に対応した件数の割合 【算出式:適切に対応した件数÷福祉相談件数×100】						延べ相談件数						総合福祉会館開館日に福祉相談を行う											
				単位						単位						単位											
				%						件						日											
				指標種類						増加することが良いとされる指標						増加することが良いとされる指標											
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
				目標(見込み)				100		100		100				40		40		40							
実績				100								11				291											
達成度						100%						28%						84%									
分析						相談に対して適切に対応できた						新型コロナウイルス感染症の影響もあり相談件数は少なかった						新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により2022/4/24～6/20は閉室									

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.11
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	864		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	—	864		
	物件費計		—	—	16,867	16,906	100%
歳出計		—	—	17,731			
歳入	国庫支出金		—	—	0	0	
	府支出金		—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	—	0	0	
	市債		—	—	0	0	
	その他		—	—	0	0	
	歳入計		—	—	0	0	
一般財源			—	—	16,867	16,906	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響や緊急事態宣言による閉室もあり、福祉相談件数は少ない結果となったが、相談に対しては適切に対応できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	福祉相談事業について市民に知ってもらうための広報等の取り組みを強化していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	健康・医療・福祉フェスティバル開催事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス			特性		選択的事業		区分		一般事務事業
事業期間	1989(S64)年度			年度	～				年度まで	
根拠法令等	決裁									
関係補助金名称							サンセット		-	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		事業に参加する市民							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		健康、医療、福祉について関心が低い(考える機会が少ない)市民が一定数いる。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの市民が参加することで、健康、医療、福祉に対する意識が高揚し、自ら健康づくりを実践する気運が高まる。									
事業概要	・医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市の共催で「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。 ・フェスティバル開催に向け、5団体より選出された委員による実行委員会を開催し、準備を進める。 ・フェスティバルでは各団体が健康・医療・福祉をテーマに様々な催しを実施する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市民の健康・医療・福祉に対する意識が高まる。					「健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。				「健康・医療・福祉フェスティバル」実行委員会を開催する。			

指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	健康・医療・福祉フェスティバル参加者アンケートで、「意識が高まった」と回答した人の割合					参加者数(延べ人数)				実行委員会の実施回数			
	単位					単位				単位			
	%					人				回			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)		80	80	80	80	7,000	7,000	7,000	7,000	4	4	4	4
実績		0	0			0	0			0	0		
達成度		0%				0%				0%			
分析		新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催に至らなかったため実績なし。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催に至らなかったため実績なし。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.11
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,291	0	864		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	118	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	5,409	0	864		
	物件費計		2,300	28	42	2,000	2%
歳出計		7,709	28	906			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			7,709	28	42	2,000	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催に至らなかったため指標に対しての実績はなし。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	来年度の健康・医療・福祉フェスティバル開催に向けて、実行委員会にて新たな手法を取り入れたイベント内容の検討や、本フェスティバルに関する情報発信を行うことで、多くの市民の参加を促し、市民の健康・医療・福祉に関する意識を高めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		ひらかた安心カプセル配布事業																									
測定年度		2021 (R3) 年度					部		健康福祉部			課		健康福祉政策課													
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2				R3				R4											
総合計画体系		基本目標			2.健やかに、生きがいを有って暮らせるまち																						
		施策目標			8.安心して適切な医療が受けられるまち																						
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業													
事業期間		2010 (H22) 年度			年度		～		年度まで																		
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称												サンセット				-											
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		安心カプセルの配布を希望する市民 (65歳以上の方、障害者手帳を有する方、妊婦、一人暮らしの方、家族で住んでいるが日中は一人になる方)																							
		サブターゲット		地域の民生委員・児童委員 (見守り活動を通じて安心カプセルを配布していることから、地域に見守りが必要な人を把握できることや、対象者とのつながり強化に資するため)																							
		ターゲットが抱える課題		安心カプセルの配布を希望する市民について、緊急搬送時に救急隊員が駆け付けた際に、自身の病気や緊急連絡先を明確に伝えることができない。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。																									
事業概要		高齢者や障害者、一人住まいの市民等からの申請に応じて、ひらかた安心カプセル (救急医療情報キット) を配付する。なお、配付については、民生委員、枚方寝屋川CKD研究会に参加する市内の人工透析を行う病院・診療所及び枚方市医師会の協力医療機関を通じて行う。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)															
		緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。					安心カプセルの配布を希望する市民に安心カプセルを配布する。					高齢者や障害者、一人住まいの市民等から申請を受け付ける。															
指標設定		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)															
		指標説明		安心カプセルの配付数 (累計)			安心カプセルの配付数 (当該年度)				配布窓口数 (民生委員の委嘱者数及び配布協力医療機関数)																
				単位		個		単位		個		単位		箇所													
		指標種類		増加することが良いとされる指標								増加することが良いとされる指標															
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
				目標 (見込み)		9,505		10,065		10,625		11,185		560		560		560		560		586		586		586	
		実績		9,838		9,935						227		97						587		588					
達成度		99%					17%					100%															
分析		前年度の配付数が目標値を大きく上回ったため、累計配付数は目標値に近い数値となった。					新型コロナウイルス感染症の影響から、民生委員による地域住民宅への訪問が控えられた傾向にあったため、想定よりも配付数が減少している。					配付協力医療機関が増加したため、目標値を達成した。															

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	641	399	393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	641	399	393		
	物件費計		418	0	294	411	72%
歳出計		1,059	399	687			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	294	411	
	歳入計		0	0	294	411	
一般財源			1,059	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	民生委員による見守り活動の中で、希望者に対して順次配付するとともに、市内の協力医療機関を通じて希望者に配付している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、民生委員が地域住民の自宅訪問を控えたことから、配付数が減少している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、ひらかた安心カプセルの啓発・推進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公共施設・コンビニへのAED設置事業										
測定年度	2021(R3)年度				部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名		8-1.医療体制の充実								
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	2015(H27)年度			年度	～					年度まで	
根拠法令等	決裁、協定書										
関係補助金名称							サンセット		～		
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	突然の心停止に伴い、心肺蘇生(AEDの使用)を必要とする全ての市民									
	サブターゲット	市内公共施設及び24時間営業のコンビニエンスストア									
	ターゲットが抱える課題	突然の心停止に伴い、心肺蘇生(AEDの使用)を必要とする場合にAEDが無ければ、救命率が低下する。公共施設は、休日や夜間は閉館しAEDを使用できないため、休日や夜間に発症した場合は、特に救命率が低下する。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内公共施設や24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置することで、いつでもAEDを使用できる環境を整備する。										
事業概要	突然の心停止からの救命率向上について、AEDの有効性が実証されており、市では従来から本市公共施設に設置していた。しかし、夜間や休日はAED設置施設が閉館しているため、平成27年4月から24時間営業の市内コンビニエンスストアに協力を得て、常時AEDを設置できる環境を整備するもの。なお、コンビニエンスストアからの要望に応じて、AED講習会を枚方寝屋川消防組合と連携して行うもの。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	緊急時にAEDを使用できる環境整備。					AEDを適正に管理する。					公共施設へAEDを設置する。				
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	指標説明		健康福祉政策課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式:正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】				健康福祉政策課が設置・所管するAEDの適正管理台数				公共施設へのAED設置台数				
			単位		%										単位
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
			目標 (見込み)	100	100	100	100	15	15	15	15	15	15	15	15
			実績	100	100			15	15			15	15		
	達成度		100%				100%				100%				
	分析		全てのAEDが正常に作動していた。				すべてのAEDを適正に管理した。				15の施設にAEDを設置した。				
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	緊急時にAEDを使用できる環境整備。					AEDを適正に管理する。					市内24時間営業のコンビニへAEDを設置する。				
指標設定②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	指標説明		健康福祉政策課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式:正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】				コンビニ設置AEDの適正管理台数				市内24時間営業のコンビニAED設置台数				
			単位		%										単位
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
			目標 (見込み)	100	100	100	100	90	90	90	90	90	90	90	90
			実績	100	100			96	94			96	94		
	達成度		100%				104%				104%				
	分析		全てのAEDが正常に作動していた。				全てのAEDが正常に作動していた。				94台のAEDを設置した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.12
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,245	957	943		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	2,245	957	943		
	物件費計		4,377	2,434	2,632	3,422	77%
歳出計		6,622	3,391	3,575			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			6,622	2,434	2,632	3,422	

5. 総括的分析

総括的分析	設置しているAEDについて適正に管理を行い、常時AEDが使用できる環境を整備出来た。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、常時AEDが使用できる環境整備に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	休日・土曜夜間急病診療事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名		8-1.医療体制の充実							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業			区分		一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度			年度	～	年度まで				
根拠法令等	決裁									
関係補助金名称							サンセット		-	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		救急患者							
	サブターゲット		枚方市医師会							
	ターゲットが抱える課題		日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合、一般の診療所等は診療を行っていないため、受診することができない。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合でも、内科診療を受診することができる。									
事業概要	・診療科目は内科と小児科。 ・診療日時は日曜日、祝日、年末年始の午前10時～12時及び午後1時～5時、土曜日の午後6時～9時。 ・診療業務については、枚方市医師会に全面委託し実施する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
	市民が安心して適切な医療が受けられるま ちにつながる。				休日・土曜夜間に病気を発症した場合にも診 療を受けることができる。				休日・土曜夜間に、内科及び小児科の診療を 行う。											
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)											
	指標説明				患者の受け入れ率 【算出式:受け入れ件数／患者数×100】				受診者数				年間診察日数							
	指標種類				単位				単位				単位							
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値				R2				R3				R4				R5			
	目標 (見込み)				100				100				100				100			
	実績				100				100				100				100			
達成度				100%				53%				100%								
分析				救急で来院した患者に対して、適切な医療を 提供することができた。				新型コロナウイルス感染症の影響により、患者 数が大幅に減少した。				日曜、祝日、年末年始や土曜日夜間につい て、休むことなく医療を提供することができた。								

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.22
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,523	1,834	1,729		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,523	1,834	1,729		
	物件費計		26,716	36,347	62,925	66,232	95%
歳出計		28,239	38,181	64,654			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			28,239	36,347	62,925	66,232	

5. 総括的分析

総括的分析	休日、土曜夜間の初期救急医療体制を確保することで、救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数が大幅に減少した。また、新医師会館の建設(令和3年9月に移設)に係る補助金により、事業費が増大した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	休日歯科急病診療所補助事業														
測定年度	2021(R3)年度					部	健康福祉部			課	健康福祉政策課				
市長公約との関係	所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標				2.健やかに、生きがいを有って暮らせるまち										
	施策目標				8.安心して適切な医療が受けられるまち										
	実行計画名				8-1.医療体制の充実										
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス				特性			選択的事業			区分		一般事務事業		
事業期間	1987(S62)年度						年度	～		年度まで					
根拠法令等	枚方休日歯科急病診療所運営補助金交付要綱														
関係補助金名称	枚方休日歯科急病診療所運営補助金									サンセット	2020(R2)年度		-	2022(R4)年度	
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		救急患者												
	サブターゲット		枚方市歯科医師会												
	ターゲットが抱える課題		日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合、一般の歯医者では診療を行っていないため治療が受けられない。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。														
事業概要	本市の休日における歯科急病診療需要に応えるため、歯科医師会が開設している休日歯科急病診療所を補助する。 ・休日歯科急病診療所は、歯科医師会の補助事業として、歯科急病患者の応急的治療を目的に、日曜日・祝日・年末年始に保健センター内において開設している。 ・診療時間は午前10時～正午までと午後1時30分～午後5時まで。														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	市民が安心して適切な医療が受けられるまちにつながる。					日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。					枚方休日歯科急病診療所運営補助金の交付により休日歯科急病診療所が開設される。				
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	患者の受け入れ率 【算出式:受け入れ件数／患者数×100】					受診者数					年間診察日数				
	単位					単位					単位				
	%					人					日				
	指標種類					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		100	100	100	100	750	750	750	750	72	72	72	73		
		100	100			715	722			72	72				
達成度		100%					96%					100%			
分析		救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができた。					新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定していた患者数よりも減少した。					日曜、祝日、年末年始について、休むことなく医療体制を確保することができた。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,042	1,994	2,121		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,042	1,994	2,121		
	物件費計		11,000	11,579	38,668	38,568	100%
歳出計		12,042	13,573	40,789			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
歳入計		0	0	0	0		
一般財源			12,042	11,579	38,668	38,568	

5. 総括的分析

総括的分析	休日の歯科急病医療体制を確保することで、救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができた。また、新医師会館への移転に伴う診療所内の特殊内装工事等に係る補助金および作業効率化を図るためのレセプトコンピューター導入に係る追加経費により、事業費が増大した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	高度救命救急医療推進協議会負担金交付事業												
測定年度	2021(R3)年度				部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標			2.健やかに、生きがいを有って暮らせるまち									
	施策目標			8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名			8-1.医療体制の充実									
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス			特性		非選択的事業			区分		非選択的事務事業		
事業期間	2006(H18)年度				年度	～					年度まで		
根拠法令等	北河内北東部地域高度救命救急医療補助金交付要綱												
関係補助金名称								サンセット		～			
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		救急患者										
	サブターゲット		関西医科大学附属病院										
	ターゲットが抱える課題		重篤患者が迅速かつ適切な医療の提供を受けることができず、生命の危機に陥る可能性が高まる。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	重篤患者に対して迅速かつ適切な医療を提供することで、患者の生命を守ることができる。												
事業概要	北河内北東部の高度救命救急体制を維持するため、関西医科大学附属病院に対して、枚方市、寝屋川市、交野市の3市による支援を行う。												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
					北河内北東部の高度救命救急体制が維持される。				高度救命救急医療推進協議会が関西医科大学附属病院へ補助金を交付する。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
					重篤患者の受け入れ人数				補助金交付率				
	単位				単位		人		単位		%		
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					700	700	700	700	100	100	100	100
	実績					922	830			100	100		
達成度					119%				100%				
分析					重篤患者数は想定以上であったが、高度救命救急体制の維持により、想定以上の患者を受け入れることができた。				予定どおりの補助金交付を行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.17
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	962	0	1,336		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	962	0	1,336		
	物件費計		10,601	10,601	10,601	10,601	100%
歳出計		11,563	10,601	11,937			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		3,901	3,901	3,901	3,901	
	歳入計		3,901	3,901	3,901	3,901	
一般財源			7,662	6,700	6,700	6,700	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定どおりであった。今後も引き続き高度救命救急体制の維持に努める。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き高度救命救急体制の維持に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	二次救急医療負担金交付事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名		8-1.医療体制の充実							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		非選択的事业			区分		非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	北河内二次救急医療協議会規約									
関係補助金名称							サンセット			～
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		救急患者							
	サブターゲット		北河内医療圏内の二次救急医療機関(救急告示病院)							
	ターゲットが抱える課題		北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持できないと、救急患者が受診することができない。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持することで、救急患者が受診することができる。									
事業概要	北河内7市の行政で「北河内二次救急医療協議会」を組織し、北河内医療圏域の二次救急医療に関する事務を共同で行う。 ①病院群輪番制病院運営事業補助 ②小児救急医療支援事業補助 ③北河内小児救急協力医療機関支援事業補助として、該当する医療機関に対して協議会から補助金を支出する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					北河内医療圏内の二次救急医療体制が確保・維持できる。				二次救急医療負担金を交付する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における年間開設日数				二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における交付割合			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2R3R4R5				R2R3R4R5				R2R3R4R5			
	指標数値				365365365366				100100100100			
	達成度				100%				100%			
	分析				想定どおりであった。				想定どおりであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.67
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,245	0	5,264		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	2,245	0	5,264		
	物件費計		27,356	27,217	27,239	27,233	100%
歳出計			29,601	27,217	32,503		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		16,924	16,801	16,801	16,801	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
歳入計			16,924	16,801	16,801	16,801	
一般財源			12,677	10,416	10,438	10,432	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定どおりであった。今後も引き続き二次救急医療体制の確保・維持に取り組む。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き二次救急医療体制の確保・維持に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	北河内こども夜間救急センター運営事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを 持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名		8-1.医療体制の充実							
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		非選択的事業			区分		非選択の事務事業
事業期間	1980(S55)年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	北河内夜間救急センター設置条例、北河内夜間救急センター設置条例施行規則、北河内夜間救急センター協議会規約									
関係補助金名称							サンセット			～
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		救急患者							
	サブターゲット		北河内7市による協議会							
	ターゲットが抱える課題		夜間に病気を発症した場合、一般の診療所等は診療を行っていないため、受診することができない。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内こども夜間救急センターにおいて、夜間に小児科診療を受けられる。									
事業概要	・入院の必要がない軽症患者の小児科診療を行うため、北河内こども夜間救急センターにおいて、一般の診療所等が診療を行っていない夜間に小児科診療(中学校3年生まで)を実施する。 ・北河内7市で協議会を設置し、北河内こども夜間救急センター運営費を負担する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
						夜間小児科診療が開設される。				北河内こども夜間救急センター運営負担金を交付する。								
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
指標設定	指標説明						北河内こども夜間救急センターの年間開設日数				負担金交付率							
			単位						単位		日				単位		%	
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
		目標 (見込み)					365	365	365	366	100	100	100	100				
		実績					365	365			100	100						
	達成度						100%				100%							
	分析						すべての夜間について、休むことなく医療体制を確保することができた。				北河内こども夜間救急センターの運営に必要な負担金を交付することができた。							

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	16,595	9,570	8,014		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	16,595	9,570	8,014		
	物件費計		146,112	130,373	147,415	156,882	94%
歳出計		162,707	139,943	155,429			
歳入	国庫支出金		0	0	407	0	
	府支出金		0	533	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		94,501	33,563	64,141	57,330	
	歳入計		87,230	31,667	64,548	57,330	
一般財源			75,477	98,706	82,867	99,552	

5. 総括的分析

総括的分析	北河内7市が連携して負担金を交付することで、年間365日休むことなく夜間の小児救急医療体制を確保し、北河内こども夜間救急センターを運営することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も北河内7市や医師会など関係機関が連携し、北河内こども夜間救急センターの適正な運営を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市病院事業会計に対する負担金・補助金交付事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	内部管理		特性		庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務
事業期間	不明			年度	～		年度まで			
根拠法令等	地方公営企業法									
関係補助金名称							サンセット	-		
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		市立ひらかた病院							
	サブターゲット		市立ひらかた病院を利用する市民							
	ターゲットが抱える課題		市立ひらかた病院の安定的・継続的な経営							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市立ひらかた病院の経営健全化を促進し経営基盤を強化することで、市民が安心して適切な医療が受けられる。									
事業概要	・市立ひらかた病院の研究研修費や企業償還金、建設改良費などに要する経費について、地方公営企業法に基づき、一般会計から繰出しを行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		単位				単位				単位			
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.04
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	401	0	314		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	401	0	314		
	物件費計		1,561,497	1,557,263	1,512,498	1,512,498	100%
歳出計		1,561,898	1,557,263	1,512,812			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,561,898	1,557,263	1,512,498	1,512,498	

5. 総括的分析

総括的分析	年2回、負担金の繰出しを行った。
-------	------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、必要な経費について一般会計より繰出しを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		医療通訳士登録派遣事業																	
測定年度		2021(R3)年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標				2.健やかに、生きがいを有って暮らせるまち													
		施策目標				8.安心して適切な医療が受けられるまち													
		実行計画名				8-1.医療体制の充実													
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業			
事業期間		2013(H25)年度				年度		～								年度まで			
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称												サンセット				～			
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		日本語を話せない外国人住民等															
		サブターゲット		日本語を話せない外国人住民等を診察する医療機関															
		ターゲットが抱える課題		日本語が話せないことにより、適切な医療を受けられない。 医療機関利用時におけるコミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスク															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		日本語を話せない外国人住民等が安心して市内の医療機関を利用し、適切に医療を受けることができる。 コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減した医療を提供できる。																	
事業概要		日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減できるよう医療通訳士の養成と、医療機関への派遣を行う。 【医療通訳士登録派遣(平成31年3月31日現在)】 派遣開始時期:平成27年6月 対象言語:英語、中国語、韓国・朝鮮語の3カ国語 派遣対象機関:市内53の医療機関及び保健センター 派遣料金:無料 ※「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業として実施。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		日本語を話せない外国人住民等が安心して市内の医療機関を利用できる。				医療通訳士を医療機関へ派遣する。				医療通訳士の養成を行う。									
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		指標説明		通訳士派遣依頼件数のうち派遣できた割合 【算出式:派遣件数／通訳士派遣依頼件数×100】				派遣件数				活動人数							
				単位		%		単位		件		単位		人					
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)		95		95		95		95		500		500		500		500	
		実績		100		100						41		153					
達成度		105%				31%				121%									
分析		全ての派遣依頼に対応することができた。				新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣休止期間等があったため、目標を大幅に下回る結果となった。				医療通訳士養成講座を開講し、令和4年3月に新たに医療通訳士4人追加となった。									

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.37
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,371	0	2,907		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	5,371	0	2,907		
	物件費計		5,786	1,870	3,724	6,488	57%
歳出計		11,157	1,870	6,631			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			11,157	1,870	3,724	6,488	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言の発令や派遣先医療機関でのクラスター発生等の理由により、一定期間、派遣(受付)を休止していた。そのため、派遣件数が大幅に目標を下回る結果となった。 なお、派遣依頼のあった全ての患者に対して、通訳士を派遣することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持	
今後の取組方針	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大前は、医療通訳士の利用件数が想定以上に伸び、これ以上利用件数が増えたと、病院へ医療通訳士を派遣する際の調整が困難となる状況であった。事業の効率化及び派遣調整の負担軽減を図るため、医療通訳士の個別派遣(現行)と、特に派遣件数が多い病院(1病院)の院内常駐(新規)との併用を令和2年1月から試行実施し、令和2年4月から本格実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本格実施に至っていない状況である。今後の感染状況や派遣依頼件数を注視し、感染防止対策を講じたうえで派遣を行う必要がある。	

事務事業実績測定調査

事務事業名称		福祉サービス利用援助事業																									
測定年度		2021 (R3) 年度					部	健康福祉部			課	健康福祉政策課															
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4													
総合計画体系		基本目標			2.健やかに、生きがいを 持って暮らせるまち																						
		施策目標			9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち																						
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス			特性			選択的事业			区分			一般事務事業													
事業期間		1999 (H11) 年度					年度		～						年度まで												
根拠法令等		枚方市福祉サービス利用援助事業補助金交付要項																									
関係補助金名称		枚方市福祉サービス利用援助事業補助金										サンセット		2020 (R2) 年度		～		2022 (R4) 年度									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なため、支援を必要とする人																							
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題		判断能力が不十分なため、安定した生活を送ることが困難																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		地域で安定した生活を送ることができ、権利が擁護される																									
事業概要		平成12年6月の社会福祉法改正により第二種社会福祉事業として位置づけられる。認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な人の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うもので、実施主体である社会福祉協議会を支援している。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		対象者に対して経済生活支援サービス(財産保全、金銭管理)が行われ、対象者の在宅生活の安定と自立生活が図られる。				福祉サービス利用援助事業の利用希望者と利用契約を結ぶ。				枚方市福祉サービス利用援助事業補助金を交付する。																	
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		利用者への生活支援員による訪問件数と手続き代行件数の合計				年度末時点の利用者契約者数				交付金額																	
		指標説明		単位		件		単位		人		単位		千円													
		指標種類		増加することが良いとされる指標						増加することが良いとされる指標						減少することが良いとされる指標											
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
				目標 (見込み)		8,058		8,540		9,150		10,492		130		140		150		172		14,406		15,131		16,729	
		実績		7,638		7,538						133		140						12,993		12,211					
達成度		88%				100%				119%																	
分析		新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う施設入所者への訪問制限により、一部金銭授受を振込対応にしたため訪問件数が減少した。				利用希望者への対応を積極的に取り組んだ結果、利用者の増加につながった。				実績に基づき、適正な補助金の交付を行った。																	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.14
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	751	0	1,100		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	751	0	1,100		
	物件費計		12,483	12,993	12,211	15,131	81%
歳出計		13,234	12,993	13,311			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			13,234	12,993	12,211	15,131	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は、訪問活動において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を一部受けたものの、状況に応じた適切なサービス提供を行った。 また、令和3年7月に開設された「ひらかた権利擁護成年後見センター」と連携し、判断能力の低下が進んだ利用者に対して成年後見制度への移行を進めるなど、運用改善にも努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、判断能力が十分でない人の権利を擁護し、自立した地域生活を送れるようサービスを提供する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	成年後見制度活用推進事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス			特性		選択的事業		区分		一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度			年度	～				年度まで	
根拠法令等	老人福祉法、決裁									
関係補助金名称							サンセット		～	
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		成年後見制度を利用する人							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		認知症や知的障害、精神障害などによって判断能力が不十分となり、契約等の締結や財産の管理ができない。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	成年後見に係る体制を整備することで、誰もが適切な支援を受け、地域で安心して生活することができる。									
事業概要	認知症、知的障害その他の精神上の障害などがあることで、財産の管理や生活上の手続き等に支障がある方たちを、社会全体で支え合う重要な手段である成年後見制度の後見人について、専門職や社会福祉協議会以外で、本人と親族関係のない後見人の新たな担い手として、「一般市民」という立場で後見活動を行う「市民後見人」の養成及び育成を行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市民後見人バンク登録者が市民後見人として後見活動を行う。				市民後見人養成研修の修了生が、市民後見人バンクに登録する。				市民後見人養成研修を開催する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市民後見人の新規受任件数				市民後見人養成研修受講者のうち、バンク登録人数				市民後見人養成研修の参加人数			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値											
	達成度				150%				100%			
分析		受任調整を行い、バンク登録者より新たに3名の受任に至った。				想定通りであった。				想定通りであった。		

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	401	6,859	5,107		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	209	606	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	610	7,465	5,107		
	物件費計		1,821	5,122	1,565	1,565	100%
歳出計		2,431	12,587	6,672			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	1,231	1,173	1,173	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	1,231	1,173	1,173	
一般財源			2,431	3,891	392	392	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度より受任調整を行ってきた2名及び令和3年度に入り受任調整を行った1名について、計3名の受任が決定した。 引き続き、市民後見人養成研修についての広報(年1回)行うなど、受講者募集を行っていくとともに、受任案件が発生した場合には、スムーズに対応できるように、体制を整えておく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民後見人の養成を行い、成年後見制度に係る体制を整えておく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ハンセン病問題解決に係る啓発事業													
測定年度	2021 (R3) 年度				部	健康福祉部				課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明				市政運営方針	R2	R3				R4			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性		選択的事業			区分		一般事務事業		
事業期間	2009 (H21) 年度					年度	～		年度まで					
根拠法令等	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律													
関係補助金名称									サンセット				-	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		市民											
	サブターゲット		本市職員											
	ターゲットが抱える課題		ハンセン病に対する誤解や偏見などが残っており、正しい知識を持ち合わせていない市民への啓発											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民や本市職員がハンセン病問題について深く理解し、偏見と差別のない社会が実現することで、ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようになる。													
事業概要	ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるような社会の構築のため、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。 ハンセン病回復者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、市民等を対象とした講演会及び映画会の開催、ちらし・リーフレット等の配布により、ハンセン病問題に関する啓発を行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	市民等の人権意識の向上が図られる。					イベント等に市民等が参加する。				講演会及び映画会などの啓発事業を実施する。				
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		イベント等への参加を通して人権意識の向上につながった人の割合 【算出式: 啓発事業来場者アンケートで、「人権意識が向上した」と回答した人の数／回収数】				イベント等の参加者数				啓発事業の実施回数				
		単位	%				単位	人				単位	回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80	80	80	80	200	200	200	200	1	1	1	1
		実績	67.74	75			224	191			1	1		
達成度	94%					96%				100%				
分析	概ね目標を達成することができた。					概ね目標を達成することができた。				パネル展示を開催することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.16
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,245	1,834	1,257		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	2,245	1,834	1,257		
	物件費計		6	0	10	600	2%
歳出計		2,251	1,834	1,267			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			2,251	0	10	600	

5. 総括的分析

総括的分析	指標については概ね目標を達成することができた。 啓発を目的に作成した市民向けリーフレットをパネル展示の参加者に配布するとともに、関係課の窓口に設置し市民に配布した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、啓発を行い、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称																							
ひらかた権利擁護成年後見センター設置運営事業																							
測定年度		2021(R3)年度				部		健康福祉部			課		健康福祉政策課										
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		○		R3		R4											
総合計画体系		基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち																			
		施策目標		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち																			
		実行計画名		権利擁護の推進																			
1. 事務事業の概要																							
種類		市民サービス				特性		選択的事業			区分		一般事務事業										
事業期間		R3年度(2021年度)				年度		～					年度まで										
根拠法令等		成年後見制度の利用の促進に関する法律																					
関係補助金名称										サンセット				～									
関係附属機関名称		枚方市社会福祉審議会																					
事業対象		メインターゲット		認知症、精神障害、知的障害などにより判断能力が不十分な市民																			
		サブターゲット		メインターゲットの家族、支援者																			
		ターゲットが抱える課題		自身で契約行為や金銭管理ができない。																			
		ターゲットが抱える課題		制度についてわからないことが多い。どこに相談してよいかわからない。																			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		権利と利益を守り、誰もが自分らしく暮らすことができる																					
事業概要		令和2年度に策定する「枚方市成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、支援を必要としている方に適切な支援が届くよう、権利擁護に係る相談窓口を集約化・明確化し、市民や支援関係者等が安心して相談できる体制を整備するにあたり、その中核的な役割を担う機関として、「(仮称)枚方市権利擁護(成年後見)支援センター」を委託により設置し、運営を行う。																					
		＜委託業務内容＞																					
		①権利擁護に関する総合相談窓口 成年後見制度を含む権利擁護に関する相談業務のほか、成年後見制度の利用が必要な人には、申立て手続き等の支援を行う。また、相談内容に応じた関係機関へのつなぎを行う。																					
		②成年後見制度に係る周知・啓発 市民や支援関係者を対象とした啓発事業(講演会・研修会等)のほか、施設や事業所等からの要望に応じて出張説明会を行う。成年後見制度に関する市独自のパンフレットを作成し、制度の周知啓発を行う。																					
		③地域連携ネットワークの構築、運営 専門職団体や地域包括支援センター、基幹相談支援センター、民生委員、地域等の関係機関とのネットワークを構築し、定期的な協議会や必要に応じた部会を開催することで、情報交換、制度の課題の整理、対象者のケース検討等を行う。																					
		④成年後見制度の利用促進 受任者調整(マッチング)等の支援、市民後見人等の担い手の育成、日常生活自立支援事業等関連制度からのスムーズな移行等、成年後見制度の利用促進に向けた取組を行う。																					
		⑤後見人の支援 市民後見人、親族後見人、後見活動を行う法人に対して、相談対応や情報提供等の活動支援を行う。																					
2. ロジックモデル及び指標設定																							
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)													
		課題の解決により本人の権利と利益が守られ、安心して自分らしい生活を送ることができる。				相談内容に応じた支援を行う。				ひらかた権利擁護成年後見センターを設置し、権利擁護に関する相談を受ける。													
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)													
		支援した件数のうち、課題解決に向かった割合【解決に向かった件数／延べ支援件数】				延べ支援件数				延べ相談件数(専門相談除く)													
		単位				単位				単位													
		%				件				件													
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標													
		指標種類		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5					
		指標数値		目標 (見込み)		100		100		100		108		192		192		270		480		480	
		実績		100								166						470					
達成度		100%				154%				174%													
分析		想定通りであった。				相談件数が想定を大幅に上回ったことに伴って、支援件数も多くなった。				広報活動等の実施により、相談件数が想定を大幅に上回った。													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.72
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	5,657		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	—	5,657		
	物件費計		—	—	36,474	36,496	100%
歳出計			—	—	42,131		
歳入	国庫支出金		—	—	300	300	
	府支出金		—	—	195	195	
	受益者負担(使用料・手数料)		—	—	0	0	
	市債		—	—	0	0	
	その他		—	—	0	0	
	歳入計		—	—	495	495	
一般財源			—	—	35,979	36,001	

5. 総括的分析

総括的分析	広報活動の実施やニーズの高さから、当初想定していた以上の相談件数となった。
-------	---------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、取り組みをすすめていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														遺家族援護事業															
測定年度				2021(R3)年度						部		健康福祉部				課		健康福祉政策課											
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針		R2				R3				R4											
総合計画体系				基本目標				2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち																					
				施策目標				13.平和の大切さを後世に伝えるまち																					
				実行計画名																									
1. 事務事業の概要																													
種類				市民サービス				特性				非選択的事业				区分				非選択的事務事業									
事業期間				不明				年度		～												年度まで							
根拠法令等				①戦没者及び戦傷病者の妻に対する特別給付金支給法 ②戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法 等																									
関係補助金名称														サンセット						～									
関係附属機関名称																													
事業対象				メインターゲット		戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求をしたいという意向を持つ市民																							
				サブターゲット																									
				ターゲットが抱える課題		先の大戦で公務等のために国に殉じた元軍人、軍属および準軍属に対して、弔慰の意を表すことを目的とした国からの弔慰金を受け取りたい。																							
				ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)				市内すべての弔慰金受給権者が申請を行い、弔慰金を受け取る。																									
事業概要				特別弔慰金、特別給付金等の請求受理・送付業務・戦没者慰霊事業等の連絡業務・その他、援護関係PR業務																									
2. ロジックモデル及び指標設定																													
ロジックモデル				アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)								インプット (活動)													
								弔慰金受給権者が弔慰金を受け取る。								弔慰金受給権者からの申請を受け付ける。													
指標設定				アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)								インプット (活動)													
				指標説明								特別弔慰金・特別給付金交付件数				特別弔慰金・特別給付金の申請件数													
																				単位				単位		件		単位	
				指標種類				増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標																			
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
				日標 (見込み)										55		504		872		431		1,091		257		554		2	
				実績										41		1,059						1,068		216					
達成度								210%								84%													
分析								裁定された特別弔慰金を速やかに請求者に交付することができた。								概ね見込んでいた件数の申請があった。													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.57
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.36
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,215	4,147	4,478		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	1,972	1,005		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	7,215	6,119	5,483		
	物件費計		53	58	170	180	94%
歳出計		7,268	6,177	5,653			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		56	58	170	180	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		56	58	170	180	
一般財源			7,212	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであった。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も円滑な申請受付及び国債交付に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		ちびっこ広場管理事業															
測定年度		2021 (R3) 年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課			
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標				5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
		施策目標				24.まちなかのみどりを育てるまち											
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		内部管理				特性				内部事務				区分		一般内部管理事務	
事業期間		不明				年度		～								年度まで	
根拠法令等		枚方市ちびっこ広場設置及び管理要綱															
関係補助金名称												サンセット				～	
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		ちびっこ広場と小規模公園を利用する幼児・児童や地域住民													
		サブターゲット		ちびっこ広場の土地所有者(市との賃貸借契約により、固定資産税が免除されているため) 集会所付き小規模公園を利用する自治会(小規模公園内に行政財産の目的外使用として自治会館を設置しているため)													
		ターゲットが抱える課題		広場を利用しており、広場に対する要望があるが、どこに相談していいかわからない。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		底地管理している民地のちびっこ広場と集会所付き小規模公園を適正に管理し、幼児・児童の安全で楽しい遊び場の提供と、地域住民交流の支援を図る。															
事業概要		「ちびっこ広場(民地のみ)」と「集会所付小規模公園」について、地元住民や自治会等との調整を図りながら、要望等に基づく固定資産税非課税手続き、行政財産の目的外使用許可、安全確保のためのフェンスの改修等を行うもの。 なお、遊具等の維持管理については公園所管部署が行う。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						申請に対して許可を行う。				民地の土地所有者と使用賃貸借契約を結んでいるちびっこ広場の契約継続および固定資産税非課税措置のための申請と、集会所付き小規模公園の行政財産目的外使用許可申請を受け付ける。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		指標説明				固定資産税非課税対象数と行政財産目的外使用許可件数の合計				ちびっこ広場の固定資産税非課税措置のための申請数と、集会所付き小規模公園の行政財産目的外使用許可申請数の合計							
		指標種類				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		日標(見込み)		0				22	22	22	22	22	22	22	22		
		実績		0				22	22			22	22				
達成度						100%				100%							
分析						管理している22カ所について適切な申請であったため許可をした。				管理している22カ所からの申請があり、今後も地域住民にとって必要な場所であり地域住民や自治会等との調整を図る。							

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.06
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	1,675	471		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,603	1,675	471		
	物件費計		272	0	0	0	—
歳出計		1,875	1,675	471			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,875	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	ちびっこ広場や集会所付き小規模公園について、意見や要望は0件であり、固定資産税非課税措置のための申請および行政財産目的外使用許可の申請を受け付け適切に管理した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正管理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	福祉オンブズパーソン事業									
測定年度	2021 (R3) 年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事业		区分		一般事務事業	
事業期間	2000 (H12) 年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	枚方市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例、枚方市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例施行規則									
関係補助金名称							サンセット			～
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		市の福祉制度について苦情のある市民							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		自らが受けている若しくは受けたい福祉制度について不満があるが、中立的な立場で意見を聞いてもらえるところがない。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	納得して福祉サービスが利用できる環境の構築。									
事業概要	・市が提供する福祉保健サービスについて、第三者機関である福祉オンブズパーソンが公平かつ中立な立場で苦情を調査し、必要な場合は市に対して意見表明を行う。 ・市はその意見などを尊重して苦情に対応する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民が納得して福祉サービスが利用できる。				市の福祉制度について苦情のある市民が相談を行う。				相談を受ける体制を構築する。				
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明		相談件数のうち調査・審査を行った割合 【算出式: 調査・審査を行った件数／相談件数×100】				相談件数				福祉オンブズパーソンの人数			
			単位		%									
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	2	2	2	2	2	2	2	2
		実績	0	50			0	2			2	2		
	達成度		50%				100%				100%			
	分析		相談2件のうち、1件は相談者が苦情申立てを行わなかったため、調査・審査の必要がなく、行っていないものである。そのため、数値上は指標を達成できていないが、実質上は達成できているといえる。				市の福祉制度について苦情のある市民に対応することができた。				市民が安心して相談できる体制を確保することができた。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.42
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	2.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,042	877	3,300		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	60	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	120		
		人件費計	1,102	877	3,420		
	物件費計		0	0	0	52	—
歳出計		1,102	877	3,420			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			1,102	0	0	52	

5. 総括的分析

総括的分析	市民からの福祉保健サービスに関する苦情および相談を2件受け、必要なものについて調査・審査を行うことができた。 また、市の福祉制度について苦情がある市民の相談に対応できるよう、引き続き、福祉オンブズパーソンの人員を確保することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	社会福祉審議会(本審)運営事務									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	内部管理			特性		庶務的事務		区分		庶務的内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則									
関係補助金名称							サンセット			-
関係附属機関名称	社会福祉審議会(本審)									
事業対象	メインターゲット		審議会の開催により、社会福祉が推進され、福祉が向上する市民							
	サブターゲット		【審議会委員への報酬支払い事務】【審議会員への源泉徴収票作成事務】【審議会委員の委嘱事務】…課職員							
	ターゲットが抱える課題		円滑に事務を進める必要がある							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑に事務を進められる									
事業概要	・学識経験者、社会福祉や児童福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会」を開催する。・審議会の委員の定数は19人以内で、任期は3年。(委員を増員する場合その他特別の事情がある場合にあつては、3年以内)なお、各施福祉分野について、専門的に調査審議するための専門分科会及び部会を設置。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		単位				単位				単位			
	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.14
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	57.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,207	0	1,100		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	3,316	1,729		
		人件費計	3,207	3,316	2,829		
	物件費計		137	0	0	0	—
歳出計		3,344	3,316	2,829			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			3,344	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの影響により、通常の参集型に加え、オンラインによる会議の開催も可能となり、会議の方式が広がった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も継続して、担当課において各種調査審議及び事業の進捗管理を適切に行うため、本審及び各分科会を開催する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		地域福祉計画推進事業											
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	内部管理			特性		内部事務		区分		一般内部管理事務			
事業期間	2014(H26)年度			年度	～					年度まで			
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則												
関係補助金名称							サンセット				-		
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		計画の推進や、審議会の開催により、市民、事業者など、地域福祉に関係する方にとって、地域福祉が向上することとなる。										
	サブターゲット		計画の進行管理の一環として行う「地域福祉セミナー」の参加者である、主に地域で福祉活動を行う住民や関係者など										
	ターゲットが抱える課題		だれもが住みなれた地域で安心して暮らしていける地域共生社会の体制整備が不十分										
	ターゲットが抱える課題		地域福祉活動に関する情報提供や共有の場がほしい										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課題を計画的・総合的に解決していくため地域福祉計画を策定し、計画に基づき施策等を進めていき、地域福祉が推進される住民の間で情報が共有され、地域福祉活動がいつそう盛んになる												
事業概要	学識経験者、地域福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」を開催する。分科会では主に社会福祉法第107条に基づく市町村地域福祉計画の策定や進行管理等を審議する。												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						地域福祉が推進される。				地域福祉計画に基づき施策等を実施する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明					地域福祉計画冊子配布数				審議会開催回数			
	単位			単位	冊	単位	回						
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)					400	100	50	50	1	1	1
実績						300	0			0	1		
達成度					0%				100%				
分析					冊子配布数は、地域福祉セミナー参加者への配布数を指標としているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、R3年度は動画配信によるセミナー開催となったため、配布ができなかったため0冊となったもの。しかし、ホームページにおいて計画冊子を掲載し、取り組みの周知は継続して行った。				関係部課庁内会議及び地域福祉専門分科会を開催し、計画の進捗管理を行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.26
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,207	3,509	2,043		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	3,207	3,509	2,043		
	物件費計		3,531	0	33	35	94%
歳出計		6,738	3,509	2,076			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
歳入計		0	0	0	0		
一般財源			6,738	0	33	35	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は関係部課庁内会議及び地域福祉専門分科会を開催し、計画の進捗管理をしていただくことができた。 また、地域福祉セミナーを市ホームページ上で動画配信により実施し、広く市民に活動について周知することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	令和4年度は中間評価の年度にあたることから、計画内容について必要に応じて見直していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		保護司会運営補助事業																	
測定年度		2021(R3)年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり													
		施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します													
		実行計画名																	
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業			
事業期間		2009(H21)年度				年度		～								年度まで			
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称		枚方市保護司会運営事務補助金								サンセット		2020(R2)年度		～		2022(R4)年度			
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		事務局を置くことによって充実した活動を行える保護司															
		サブターゲット		・罪を犯した人 ・罪を犯した人の更生や、非行の防止を援助することにより地域で安心して暮らせる市民全体															
		ターゲットが抱える課題		保護司の多岐にわたる職務を支援する事務局としての立場が必要。															
		ターゲットが抱える課題		更生援助や非行の防止のためには、保護司だけでなく各更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会等)とも密に連携する必要があり、各構成団体を繋ぐ役割を担う事務局としての立場が必要。															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		事務局が機能することで、関係組織との協力体制がいつそう円滑に行われるなど保護司会活動が推進され、市の更生保護が推進される。																	
事業概要		「社会を明るくする運動」の中心的存在でもある保護司会の運営にかかる事務を円滑に遂行できるよう、枚方市社会福祉協議会を支援する。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		保護司会の運営にかかる事務及び社会を明るくする運動の事務が円滑に実施できる。				枚方市社会福祉協議会に事務局が設置される。				枚方市保護司会運営事務補助金を交付する。									
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		保護司会活動数(定例会、校区懇談会の開催回数)				保護司の人数(枚方地区のみ)				交付金額または件数									
		単位 件				単位 件				単位 人									
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
		指標種類		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		指標数値		12		12		12		12		93		93		93		93	
達成度		58%				92%				100%									
分析		新型コロナウイルス感染症の影響により、定例会が複数回中止となり、校区懇談会は開催されなかった。				1名減員した。				補助金の交付により、本市における共同募金会の活動が円滑に行われる環境整備に寄与した。									

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	241	479	393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	324	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	241	803	393		
	物件費計		8,464	8,626	8,527	8,666	98%
歳出計			8,705	9,429	8,920		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			8,705	8,626	8,527	8,666	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している活動が実施できず、アウトカム指標が減少した。引き続き、市の更生保護活動が推進されるべく、保護司会の運営に対する補助を行う。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、保護司が更正保護活動を円滑に行うために支援するとともに、枚方市社会福祉協議会が事務を円滑に遂行できるよう補助する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														民生委員・児童委員大会開催事務															
測定年度				2021(R3)年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課													
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系				基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり																							
				施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します																							
				実行計画名																									
1. 事務事業の概要																													
種類				市民サービス				特性				選択的事業				区分				一般事務事業									
事業期間				2014(H26)年度				年度		～						年度まで													
根拠法令等				決裁																									
関係補助金名称														サンセット				～											
関係附属機関名称																													
事業対象				メインターゲット		本市の民生委員・児童委員、主任児童委員(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)																							
				サブターゲット		民生委員の資質や意欲が向上することで、市民にとっても地域の福祉が向上する。																							
				ターゲットが抱える課題		長期間の活動の中で、活動に対する意欲継続。																							
				ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)				日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲を高められる。																									
事業概要				枚方市と枚方市民生委員児童委員協議会との共催により「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。第1部の表彰式では厚生労働大臣特別表彰の伝達、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰の伝達及び民生委員・児童委員としての勤続年数が10年、15年、20年、25年勤続者に対する市長表彰を、第2部では民生委員・児童委員の研修を行い、民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																													
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
				枚方市民生委員・児童委員が日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲が高まる。				枚方市民生委員・児童委員が大会に参加する。				「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。																	
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
				表彰の基準となる任期10年以上の民生委員・児童委員の割合(表彰日時点)				参加人数				開催回数																	
				単位				%				単位				人				単位				回					
				指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標													
				指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
						19.80		19.80		19.80		19.80		441		441		441		441		1		1		1		1	
						19.87		27.41						67		48						1		1					
達成度				138%				11%				100%																	
分析				長期にわたり活動されている民生委員・児童委員が多く、目標値を上回った。				新型コロナの影響により規模を縮小して実施したため、目標値を大幅に下回った。				新型コロナウイルス感染症対策を行い、規模を縮小して開催することができた。																	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.16
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,523	2,791	1,257		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,523	2,791	1,257		
	物件費計		786	203	230	331	69%
歳出計		2,309	2,994	1,487			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			2,309	203	230	331	

5. 総括的分析

総括的分析	本来は全民生委員・児童委員が参加し開催するものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施した。そのためアウトプット指標が大幅に減少した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	民生委員・児童委員活動の強化推進に資するため、引き続き、同大会の開催を通じて民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		民生委員研修事業												
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性		選択的事业		区分		一般事務事業				
事業期間	1974(S49)年度			年度	～					年度まで				
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称							サンセット				-			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		本市の民生委員・児童委員、主任児童委員(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)											
	サブターゲット		民生委員の資質や意欲が向上することで、市民にとっても地域の福祉が向上する。											
	ターゲットが抱える課題		福祉制度に関する知識や技術などを習得する場が少ない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	民生委員としての知識や技術などを習得することで、資質が向上する。													
事業概要	枚方市民生委員児童委員協議会に委託し、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、福祉施設の視察や福祉制度についての勉強会など各種研修を実施する。中核市移行に伴い、大阪府から権限の委譲を受け、民生委員法第18条に基づき、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会が実施する指導訓練に係る研修を実施している。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	民生委員としての知識や技術などを習得し、資質が向上する。					民生委員・児童委員及び主任児童委員が研修に参加する。				民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の機会を設ける。				
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明		研修参加者における、研修に対する満足度【算出式:研修後、アンケートを実施し、参加者のうち、「満足」「やや満足」と回答した割合】			のべ研修参加人数				民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の実施回数				
			単位 %			単位 人				単位 回				
	指標種類		増加することが良いとされる指標			増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		80	80	80	80	3,000	3,000	3,000	3,000	120	120	120	120
	実績		94.87	100			1,393	1,364			48	55		
達成度		125%			45%				46%					
分析		民生委員の活動に沿った内容の研修を実施することが、高い満足度につながった。			新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修が中止になったため。				新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修が中止になったため。					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	481	877	550		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	481	877	550		
	物件費計		4,354	769	585	4,433	13%
歳出計			4,835	1,646	1,135		
歳入	国庫支出金		0	447	424	451	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	447	424	451	
一般財源			4,835	322	161	3,982	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修が中止になったことにより、アウトプット、インプットともに目標値を大きく下回った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	民生委員活動及び主任児童委員活動に必要とされる事項について、継続して研修を実施し民生委員・児童委員の資質の向上を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	民生委員児童委員協議会事務補助事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス			特性		選択的事業		区分		一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度			年度	～	年度まで				
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱									
関係補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金						サンセット	2017(H29)年度		2019(R1)年度
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		拠点・事務局があることによって充実した活動を行える民生委員・児童委員							
	サブターゲット		民生委員・児童委員の活動が充実することで、市民全体が地域で安心して暮らせる。							
	ターゲットが抱える課題		民生委員・児童委員の多岐にわたる活動にあたり、事務的な支援が必要。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局が設置されることで、民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。									
事業概要	民生委員児童委員協議会の事務局事務を行う社会福祉協議会を支援する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。				民生委員児童委員協議会事務局が設置される。				民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。				
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			民生委員・児童委員の延べ活動件数				役員会・校区委員長会 開催回数				民生委員委嘱者数(3月31日時点)			
	指標種類		単位		件	単位		回	単位		人			
			増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	80,000	80,000	80,000	80,000	10	10	10	10	465	465	465	465
	実績	10,850	11,697			9	12			477	486			
達成度		15%				120%				105%				
分析		過去の実績と、新型コロナウイルス感染症が及ぼす民生委員の訪問活動への影響も鑑みると、概ね想定どおり。				新型コロナの感染状況を鑑み、大人数が集まる校区委員長会の開催を複数回自粛したが、役員会を例年より多く開催した。				前年度より9名増加した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,312	1,675	786		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	1,312	1,675	786		
	物件費計		19,538	19,604	19,037	19,242	99%
歳出計		20,850	21,279	19,823			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			20,850	19,604	19,037	19,242	

5. 総括的分析

総括的分析	対面での対応も多い民生委員の活動に対して、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響は大きく、活動件数は減少した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、枚方市民生委員児童委員協議会の事務局を担う枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		民生委員推薦事務															
測定年度		2021(R3)年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課			
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり											
		施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性				非選択的事業				区分		非選択的事務事業	
事業期間		不明				年度		～								年度まで	
根拠法令等		民生委員法															
関係補助金名称												サンセット				～	
関係附属機関名称		社会福祉審議会民生委員審査専門分科会															
事業対象		メインターゲット		民生委員になりうる市民(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)													
		サブターゲット		各校区に民生委員が配置されることにより、安心して生活することができる市民 民生委員を推薦する、各校区の校区コミュニティ協議会や自治会													
		ターゲットが抱える課題		民生委員のなり手が不足している。候補者を探すのに苦慮している。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		全校区に定数どおりの民生委員・児童委員が配置されている。															
事業概要		枚方市民生委員・児童委員定数条例に規定する定数に沿って、全民生委員・児童委員の任期が満了となる一斉改選(3年に一度)時には年2回、その他の年については欠員補充に伴い年3回、枚方市民生委員推薦会を開催して、民生委員・児童委員の候補者を厚生労働大臣に推薦する。平成26年4月からの中核市移行に伴って大阪府から権限が委譲された事務で、大阪府が一部負担していた民生委員活動費負担金も、中核市移行後は市が全額負担している(地方交付税措置あり)。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						地域より推薦のあった民生委員・児童委員の候補者について適否を審議し、適任であると判断した候補者を厚生労働大臣に推薦し、民生委員の充足に努める。				改選等の時期に枚方市民生委員推薦会を開催する。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		指標説明				民生委員の充足率(翌年度4月1日時点) 【算出式:委嘱者数／定数×100】				枚方市民生委員推薦会開催数							
		指標種類		単位		単位		%		単位		回					
		指標種類				増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標									
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		指標数値		日標 (見込み)				91	91	91	92	3	3	2	3		
		指標数値		実績				87.71	89.91			3	3				
達成度						99%				100%							
分析						校区コミュニティ協議会による民生委員の推薦活動により、充足率が高まった。				年3回の欠員補充のため予定通り開催することができた。							

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.68
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,089	4,546	5,343		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	817	606	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	219	200		
		人件費計	4,906	5,371	5,543		
	物件費計		39,423	36,086	37,069	40,009	93%
歳出計		44,329	41,457	42,612			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			44,329	36,086	37,069	40,009	

5. 総括的分析

総括的分析	年3回の欠員補充にあたり、各校区コミュニティ協議会へ民生委員・児童委員の推薦を依頼し、会議を開催した。前年度に引き続きコロナ禍での推薦活動となったが、各校区コミュニティ協議会の活動により、充足率を高めることが出来た。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	欠員地域については校区コミュニティ協議会に働きかけ、欠員補充を依頼する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	献血推進事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		選択的事業			区分		一般事務事業
事業期間	不明			年度	～	年度まで				
根拠法令等	枚方市献血推進事業補助金交付要項									
関係補助金名称	枚方市献血推進事業補助金						サンセット	2017(H29)年度	～	2019(R1)年度
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		市民全般(血液を必要とする市民や、献血者数が減少していることから、献血経験がない・献血思想がない市民に対しても献血推進活動を行っている)							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		血液を必要としているが、安心して輸血を受けられる体制が整っておらず、血液が不足している。献血についての知識や経験がないことから、献血者数が低下している。							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業が継続されることで、年間を通しての継続的な献血量が確保される。									
事業概要	枚方市社会福祉協議会が献血推進協議会を設置し、事業計画に基づく献血事業を毎年展開。 京阪枚方市駅、樟葉駅前での街頭キャンペーンをはじめ、校区福祉委員会との連携あるいは高校、大学の学域、事業所、病院、市役所等の職域などの関係機関・団体にも協力を依頼するなど、献血活動を推進。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	年間を通しての継続的な献血量が確保される。					献血推進協議会の事業計画に基づく献血事業を実施する。				枚方市献血推進事業補助金を交付する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	指標説明		採血者数			地域における啓発取り組み回数				献血推進協議会 構成団体数							
			単位	件										単位	回		単位
	指標種類		増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
		目標 (見込み)	26,000	26,000	26,000	26,000	8	8	8	8	16	15	15	15			
		実績	20,427	20,089			2	4			16	15					
	達成度		77%					50%				100%					
分析		新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施が難しく、目標値を下回る結果となった。					新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止または規模を縮小して実施されたため、目標値を下回る結果となった。					令和3年度は15団体の協力を得て献血の推進や市民への周知活動を実施した。今後も引き続き構成団体として協力を求めていく。					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.11
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	241	399	864		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	241	399	864		
	物件費計		5,514	5,652	5,554	5,671	98%
歳出計		5,755	6,051	6,418			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			5,755	5,652	5,554	5,671	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、コロナ禍以前のような献血の実施が難しく、指標の達成度は低くなっている。また、啓発活動についても中止したものや回数を減らして実施したものがあるため、アウトカム、アウトプットが目標を下回った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	駅前での該当キャンペーンなどの啓発活動を行うとともに、各関係機関の協力を得ながら、引き続き献血活動を推進していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		校区福祉活動推進事業																									
測定年度		2021 (R3) 年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課													
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2				R3				R4											
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり																					
		施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します																					
		実行計画名				計画推進2-1.市民活動の支援																					
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的事业				区分				一般事務事業									
事業期間		1998 (H10) 年度										年度		～		年度まで											
根拠法令等		枚方市補助金等交付規則、枚方市校区福祉活動推進事業補助金交付要項																									
関係補助金名称		枚方市校区福祉活動推進事業補助金										サンセット		2020 (R2) 年度				～		2022 (R4) 年度							
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		地域の高齢者、障害(児)者、子育て中の親子など地域住民全体																							
		サブターゲット		主にメインターゲットを支援する立場の事務局および校区福祉委員会等																							
		ターゲットが抱える課題		地域福祉の担い手が不足している。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		・支援を必要とする方すべてに支援が行き届いている。 ・地域での活動に年代性別問わず多くの方が参加しており、担い手の養成も進んでいる。																									
事業概要		地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小学校区域で行う校区福祉委員会の活動をサポートする社会福祉協議会を支援する。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)													
		地域が、さまざまな福祉活動を推進する。						地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小学校区域で行う体制が整備される。						枚方市校区福祉活動推進事業補助金を交付する。													
指標設定		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)													
		校区福祉活動 延べ参加人数						校区福祉委員会協議会会議開催回数及び研修実施回数の合計						交付金額													
		単位 人						単位 回						単位 千円													
		増加することが良いとされる指標						増加することが良いとされる指標						減少することが良いとされる指標													
		指標説明		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		指標数値		79,000		79,000		79,000		79,000		-		19		19		19		-		37,935		37,935		37,935	
		実績		25,494		25,526						9		9						38,343		37,683					
達成度		32%						47%						101%													
分析		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標値を大きく下回る結果となった。						新型コロナウイルス感染拡大の影響により、目標値を大きく下回る結果となった。						令和3年度も引き続き枚方市校区福祉活動推進事業補助金を交付した													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.11
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	241	399	864		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	241	399	864		
	物件費計		38,658	38,343	37,683	37,914	99%
歳出計		38,899	38,742	38,547			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源		38,899	38,343	37,683	37,914		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動が難しく、指標の達成度は低いものとなっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	地域福祉のさらなる推進に向け、引き続き適正に事業を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		福祉活動・福祉団体等補助事業																									
測定年度		2021(R3)年度					部	健康福祉部			課	健康福祉政策課															
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4													
総合計画体系		基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり																						
		施策目標			30.市民による活発なまちづくり活動を支援します																						
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業													
事業期間		不明						年度	～		年度まで																
根拠法令等		枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付要項																									
関係補助金名称		枚方市福祉活動・福祉団体等補助金										サンセット		2017(H29)年度		～	2019(R1)年度										
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		枚方市福祉団体連絡会に加盟する福祉団体																							
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題		遺族会や身体障害者の会など、当事者団体としての活動するにあたり、財源が不足している																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		当事者同士の情報交換や交流などを行うことができ福祉活動が推進される																									
事業概要		地域福祉活動促進を図るため、福祉団体等を支援する。 ①福祉団体助成金 ②福祉団体連絡会助成 ②福祉活動助成金(やすらぎ音楽祭) ③ひとり暮らし老人会運営助成金																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		当事者同士の情報交換や交流などを行うことができ福祉活動が推進される。				各種福祉団体の円滑な組織運営の支援が図られる。				枚方市福祉活動・福祉団体等補助金を交付する。																	
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		障害者週間啓発キャンペーン 午前の部、午後の部参加人数の合計				活動支援している団体数				枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付額																	
		指標種類		増加することが良いとされる指標		単位		人		増加することが良いとされる指標		単位		団体		減少することが良いとされる指標		単位		千円							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
				目標 (見込み)		191		170		170		170		11		10		10		10		5,804		5,752		5,600	
		実績		0		103						11		10						5,402		5,444					
		達成度		61%				100%				105%															
分析		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参加人数を制限しての開催となった。				令和3年度に1団体が解散したため、活動支援団体は10団体となった。				新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各団体の活動が難しくなったため、中止になった活動について補助金の減額がなされることとなった。																	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.19
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	751	160	1,493		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	751	160	1,493		
	物件費計		5,741	5,402	5,444	5,650	96%
歳出計		6,492	5,562	6,937			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			6,492	5,402	5,444	5,650	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動が難しく、指標の達成度が低い項目がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	事業の見直しを踏まえ、福祉団体に意見聴取を行い、今後の事業にあり方について検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称																
ひらかたポイント事業																
測定年度		2021(R3)年度				部		健康福祉部			課		健康福祉政策課			
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4				
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり										
		施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します										
		実行計画名				計画推進2-1.市民活動の支援										
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス				特性		選択的事業			区分			一般事務事業		
事業期間		2018(H30)年度				年度		～					年度まで			
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称										サンセット				～		
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		健康・子育て・長寿など市が重点的に進める施策の対象者												
		サブターゲット		ひらかたポイント利用に係る市内協力店舗												
		ターゲットが抱える課題		市の事業やまちづくりに対して無関心または一定の関心はあるが、契機がなく積極的な参画に至れていない。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		ポイント付与というインセンティブを契機に、ターゲットが市の事業やまちづくりに興味を持ち、積極的に参画している状況を形成し、ひいてはターゲットの健康増進・長寿や地域経済の活性化に寄与している状態。														
事業概要		・市が実施する健康・高齢者・アンケート・届出・ボランティア等の分野に関する事業等への参画や、市が指定する検診等を受診した市民に対して、ポイントというインセンティブを付与し、市内の店舗等でそのポイントを利用できる制度を構築する。また、ポイントにあっては、市からの付与以外に協力店舗からのポイントも付与できるシステムとすることで、ポイント制度に広がりを持たせるとともに、地域経済の活性化にも繋がるよう制度構築を行う。 ・現在、非接触型ICカードを使用したシステムで運営。しかし、カード作成やカード読み取り端末のコスト負担が大きく、カード普及や協力店舗の拡大、制度魅力向上のマイナス要因になっている。そこで、委託契約期間が残り2年度ある現時点において委託料の年度別割り振りを変更することで、現在急速に発展したQRコードを用いたシステムへの改修(アプリ化)を行い、事業活性化の基盤を整えるもの(令和2年度)。また、ポイント付与事業を拡大し、市による積極的なポイント付与等によって事業効果や魅力向上を図る(令和3年度)。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		ポイント付与というインセンティブを契機に、ターゲットが市の事業やまちづくりに興味を持ち、積極的に参画している状況を形成する。ひいてはターゲットの健康増進・長寿や地域経済の活性化に寄与している。				付与事業への参加により、ひらかたポイントカード及びアプリの利用者数が増える。				ひらかたポイントを付与する対象事業の拡充を進める。						
指標設定	指標説明		ポイント利用率(累計発行ポイントに対する累計利用ポイントの割合)				ひらかたポイントカード発行枚数(アプリダウンロード件数を含む)				ポイント付与事業数					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5					
	達成度		36%				59%				132%					
	分析		前年度と比べて増加しているものの目標には届かなかった。				前年度と比べて増加しているものの目標には届かなかった。				健康分野を中心に幅広く付与事業を拡大した。					
	指標説明		ポイント付与というインセンティブを契機に、ターゲットが市の事業やまちづくりに興味を持ち、積極的に参画している状況を形成する。ひいてはターゲットの健康増進・長寿や地域経済の活性化に寄与している。				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数(広報誌、WEB等での広報活動を除く)					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5					
指標設定②	指標説明		ポイント利用率(累計発行ポイントに対する累計利用ポイントの割合)				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数(広報誌、WEB等での広報活動を除く)					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5					
	達成度		36%				114%				332%					
	分析		前年度と比べて増加しているものの目標には届かなかった。				委託事業者との連携のもと目標を大きく上回った。				委託事業者との連携のもと目標を大きく上回った。					
	指標説明		ポイント利用率(累計発行ポイントに対する累計利用ポイントの割合)				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数(広報誌、WEB等での広報活動を除く)					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.37
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.36
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	10,983	10,766	10,764		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	566	1,005		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	10,983	11,332	11,769		
	物件費計		42,270	58,404	27,475	28,875	95%
歳出計		53,253	69,736	39,244			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			53,253	58,404	27,475	28,875	

5. 総括的分析

総括的分析	昨年度にQRコードを用いたシステムへの改修(アプリ化)を行い、令和3年4月に新システムへ完全移行した。健康分野を拡充し、市民の健康づくりに関する取り組みを「後押し」する一助として実施するとともに、令和4年度以降の事業継続等について検討を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	・市民が健康づくりに取り組みやすい環境づくりをより推進するため、市民の健康増進に資する取り組みに重点を置いた事業運営を基軸とする。 ・健康増進等に向けた各年代におけるポイントメニューの効果的な展開を図る。 ・健康経営等の健康づくりに関連する取り組みを行う市内企業、各種公益活動団体等によるポイントシステムの活用を拡大する(ポイント発行主体の拡大)。 ・公益活動団体等が取り組む健康への活動支援にもポイントが活用できるシステムを構築し、団体等とともにポイント事業の普及を図る。 ・ポイント事業への登録からポイントの利用までを体感する機会を提供するなど地域での活動を行い、ポイント事業のさらなる普及を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		日本赤十字社事務補助事業														
測定年度		2021(R3)年度			部		健康福祉部			課		健康福祉政策課				
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり											
		施策目標			30.市民による活発なまちづくり活動を支援します											
		実行計画名														
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分		一般事務事業			
事業期間		2003(H15)年度				年度		～						年度まで		
根拠法令等		民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱														
関係補助金名称		民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金							サンセット		2020(R2)年度		～		2022(R4)年度	
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		拠点・事務局があることによって充実した活動を行える日本赤十字奉仕団												
		サブターゲット		人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動をはじめ、災害救護、救急法普及や健康生活支援などの各種事業の展開が図られることで、市民全体が地域で安心して暮らせる。												
		ターゲットが抱える課題		日本赤十字奉仕団の活動にあたり事務的な支援が必要。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。														
事業概要		日本赤十字社法第7条の規定に基づく枚方市地区の赤十字活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。				日本赤十字奉仕団の活動にあたり事務的な支援が行われる。				民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。						
指標設定			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		奉仕団による延べ活動件数(地域への啓発活動、街頭募金、炊き出しなど)				部会会議開催回数及び管内研修実施回数の合計				交付金額(日本赤十字社事務補助分)					
			単位		件		単位		回		単位		千円			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		目標(見込み)	13	13	13	13	14	14	14	14	9,533	9,533	9,533	9,533		
		実績	0	3			10	15			9,704	9,508				
達成度		23%				107%				100%						
分析		新型コロナの影響により、街頭募金や炊き出し等の活動を行うことができず、達成度が低くなった。				新型コロナの影響により、大人数での研修や県外研修を実施することはできなかったものの、その他の研修を適切に実施した。				赤十字活動の推進を図るべく、補助金交付により枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.08
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	802	239	629		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	802	239	629		
	物件費計		9,635	9,704	9,508	9,508	100%
歳出計			10,437	9,943	10,137		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			10,437	9,704	9,508	9,508	

5. 総括的分析

総括的分析	前年度より、新型コロナの影響によって活動に大きく支障が生じているが、コロナ禍においても工夫して活動を行った結果、アウトカム、アウトプットともに前年を超える達成度となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		共同募金会事務補助事業																	
測定年度		2021 (R3) 年度				部		健康福祉部				課		健康福祉政策課					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標				6.計画の推進に向けた基盤づくり													
		施策目標				30.市民による活発なまちづくり活動を支援します													
		実行計画名																	
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業			
事業期間		2003 (H15) 年度				年度		～								年度まで			
根拠法令等		民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金交付要綱																	
関係補助金名称		民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金								サンセット		2017 (H29) 年度		～		2019 (R1) 年度			
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		拠点・事務局があることによって充実した活動を行える共同募金会															
		サブターゲット		募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民が地域で安心して暮らせる。															
		ターゲットが抱える課題		共同募金会各事業の多岐にわたる職務を支援する事務局が必要															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		共同募金会の活動が円滑に推進され、募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民の福祉が向上する。																	
事業概要		社会福祉法にも位置づけられる「共同募金」について、大阪府共同募金会の定款第20条の規定に基づく本市を1地区とする活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民の福祉が向上する。				共同募金会の活動が円滑に推進される。				民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。									
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		助成事業数				共同募金の総額(赤い羽根共同募金と地域歳末たすけあい募金の合計)				市内募金箱設置箇所数(市所管施設、社会福祉法人、市内企業等の合計)									
		単位 件				単位 千円				単位 件									
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標									
		指標種類		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		指標数値		13		12		12		12		19,383		19,383		19,383		19,383	
達成度		92%				94%				108%									
分析		助成事業について詳細を見直し統合したことに加え、令和3年度は新型コロナの影響により実施されなかった事業等があったため目標を下回っている。				新型コロナウイルス感染拡大の影響により、募金活動を実施する機会が減少し、目標値を下回る結果となった。				市内社会福祉法人や市内企業等にも働きかけ、目標値を上回ることができた。									

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	802	319	393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	802	319	393		
	物件費計		6,073	6,118	5,992	5,992	100%
歳出計		6,875	6,437	6,385			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			6,875	6,118	5,992	5,992	

5. 総括的分析

総括的分析	補助金の交付により、本市における共同募金会の活動が円滑に行われる環境整備に寄与した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	健康福祉政策課運営事務													
測定年度	2021(R3)年度				部	健康福祉部				課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標			9.施策体系外										
	施策目標			99.施策体系外										
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性		庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務			
事業期間	不明				年度	～						年度まで		
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称									サンセット		～			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		課職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に行う。													
事業概要	市議会対応、部の予算・決算処理、事務事業・公約施策等の取りまとめなど福祉施策全般の調整、社会福祉協議会の運営に関する委員委嘱・報酬支払い、寄付金・募金等の受付、福祉部及び福祉総務課の照会回答取りまとめ、庶務事務など。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明		単位				単位				単位			
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
		達成度												
	分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	2.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	26,966	22,968	18,464		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	796	642	453		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	27,762	23,610	18,917		
	物件費計		6,533	83,467	24,758	43,858	56%
歳出計		34,295	107,077	43,675			
歳入	国庫支出金		76	0	0	0	
	府支出金		0	62	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		4,994	128,252	18,071	129,366	
	歳入計		5,070	68,226	18,071	129,366	
一般財源			29,225	15,241	6,687	▲ 85,508	

5. 総括的分析

総括的分析	庁内外との連絡調整、運営・庶務事務について、適正に執行した。
-------	--------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して円滑に運営事務及び庶務事務を執行していく。